

コルガノフード NS タイプ

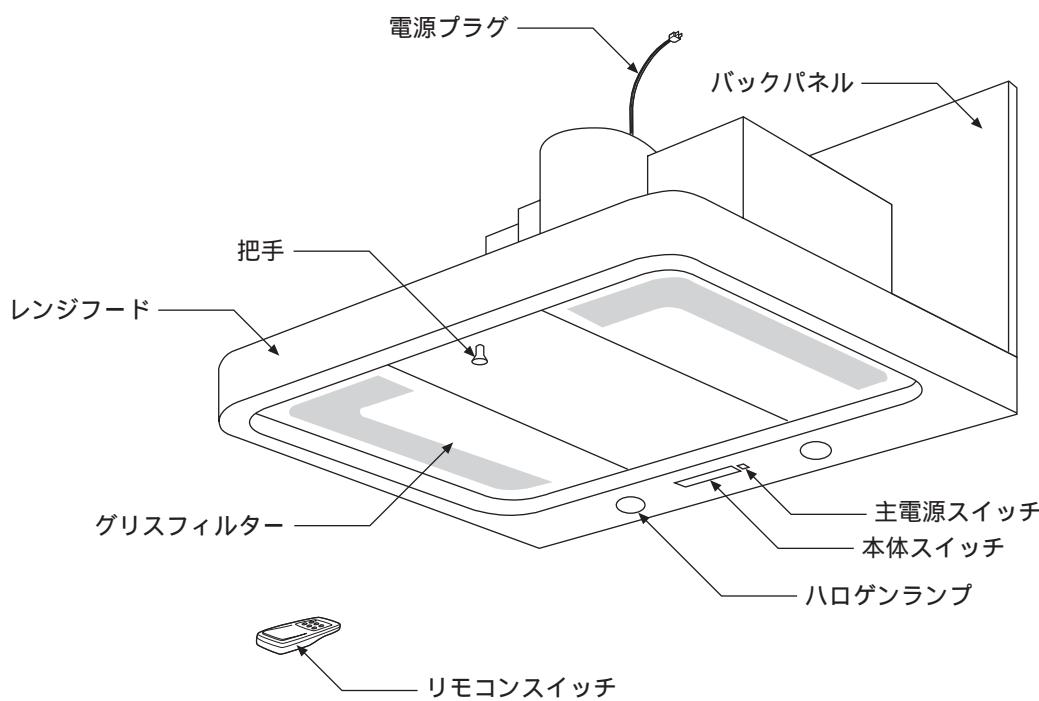
TRNS - 90D

TRNS - 120D

取付工事説明書

もくじ

- ・安全上のご注意 1 ~ 2
- ・取付け上のご注意 2
- ・取付け前の準備 / 別売部品 / 排気ダクトの取付け 3
- ・レンジフードの取付け / 4 ~ 裏表紙
製品寸法図 / 取付け後の点検・清掃



バックパネルはオプション対応です。

安全上のご注意

必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

取付工事完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

⚠ 警告

仕様変更・改造は絶対にしないでください。



分解禁止



火災・感電・ケガの原因となります。

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造物に金属製ダクトを貫通させる場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と電気的に接触させないでください。



取付注意

漏電した場合、火災の原因となります。
(電気設備技術基準第182条)

取付壁面が金属板張りの場合は、フード本体および、換気扇と金属板とを電気的に接触させないでください。



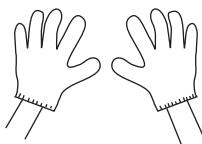
取付注意

漏電した場合、火災の原因となります。
(電気設備技術基準第182条)

製品を取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



手袋着用



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

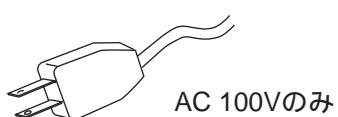
⚠ 注意

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って確実に行ってください。



誤った配線工事は、漏電、感電や火災の恐れがあります。

交流 100V 以外で使用しないでください。



AC 100Vのみ

火災・感電の原因となります。

部品は確実に取付けてください。



取付注意

落下により、ケガをする恐れがあります。

本体は十分強度のあるところに、しっかり取付けてください。



取付注意

落下により、ケガをする恐れがあります。

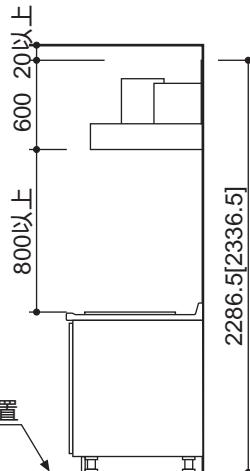
取付け上のご注意

1. 建築基準法（同施工令）および消防法等の関連法規に従って取付けてください。

2. 本体の壁への埋め込みは絶対におやめください。

3. 製品はガス器具の真上に取付けてください。
なお、製品の取付け高さは、グリスフィルターの下端がガス器具の真上80cm以上になるようしてください。

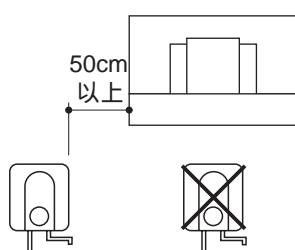
〔 〕内寸法は、A F仕様
【H=150】の場合を示す。



4. 間口900タイプのレンジフードの場合、加熱機器は、間口600以下のものをご使用ください。
間口1200タイプのレンジフードの場合、加熱機器は、間口900以下のものをご使用ください。
排気効率が低下します。

5. 指定サイズ（150）以外のダクトや非常に長いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

6. レンジフードの下には、絶対に湯沸器を取付けないでください。また、湯沸器を横に取付ける場合には、50cm以上離して取付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。

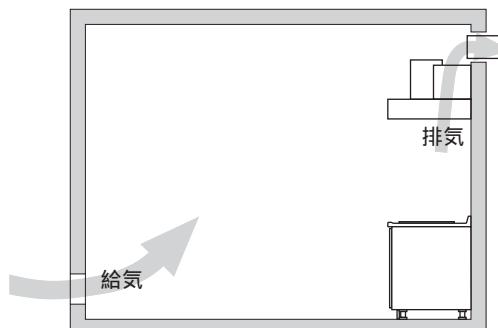


7. 室温が40 以上になる場所、薬品を使う場所には取付けないでください。
火災・感電の原因となります。

8. ダクトと排気口の隙間は、付属のソフトテープを使用して塞いでください。

9. ダクトは室外側を若干下げて配管してください。

10. 効率よく換気させるため、排気量に見合う大きさの給気口を設けてください。とくに自然排気型のストーブをご使用のときは、排気ガスが室内に逆流し一酸化炭素中毒を起こすことがありますので、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をしてください。

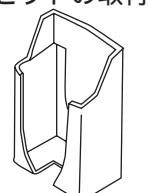


排気用ダクトの大きさ以上の給気口を、排気口と対称の壁に設けると有効です。

11. リモコンホルダーの取付けに関しては、本体に同梱されていますリモコンセットの取付説明書をお読みください。



リモコンスイッチ
リモコンセット
リモコンスイッチ：1個
リモコンホルダー：1個



リモコンホルダー

レンジフードを運転するのに使います。

取付け前の準備

1. 取付桟の確認

- 取付け位置に指定の取付桟があるかを確認してください。

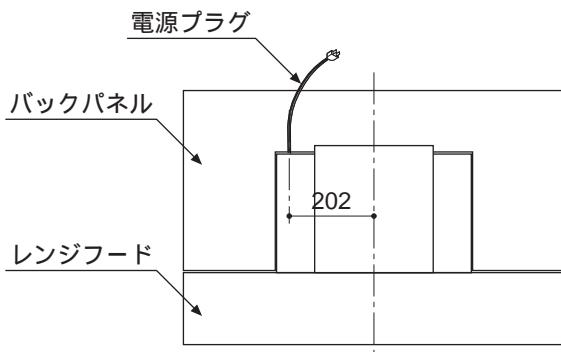
2. 別売部品の準備

- 当製品は上方排気です。左右側方、後方排気の場合には、排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

(詳しくは別売部品を参照ください。)

3. 電源コンセント

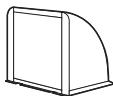
- 電源コンセントは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V)



別売部品

L型ダクト

LD-15



後・横排気用部品

ジャバラダクト

FJ-15

TR-AD



直接排気の中間ダクト

スパイラルダクト

TR-20SD

TR-400SD



直接排気の中間ダクト

ウェザーカバー

WK-15K

WK-15DK

WK-15K2

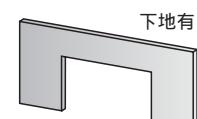


外壁用

バックパネル

SDOP-BP90-43

SDOP-BP120-43

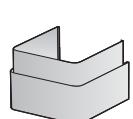


バックパネル

フード幕板

TRBM-FS2310S

TRBM-FS2320S



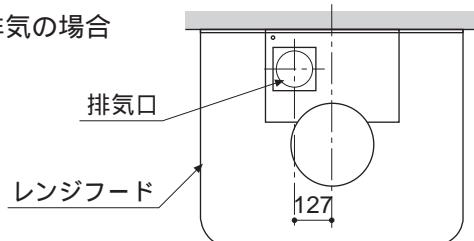
幕板

排気ダクトの取付け

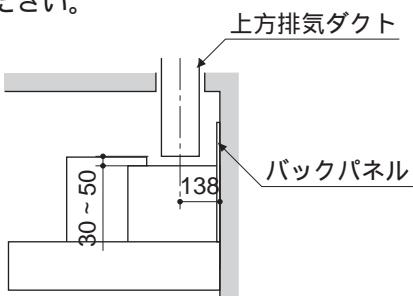
1. 下図を参考にして壁面および天井面に、ダクト用の穴開けをしてください。

2. 150のダクトを下図の位置にセットして周囲を仕上げてください。

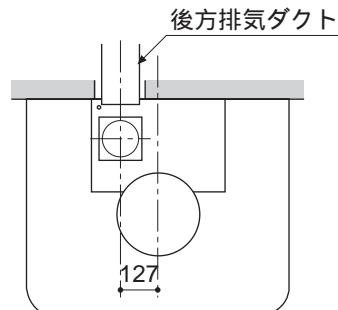
上方排気の場合



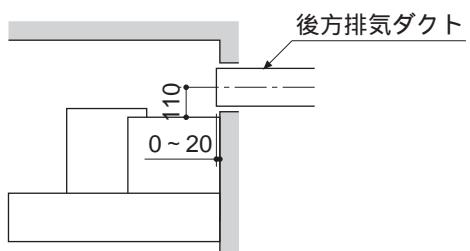
上方排気ダクト



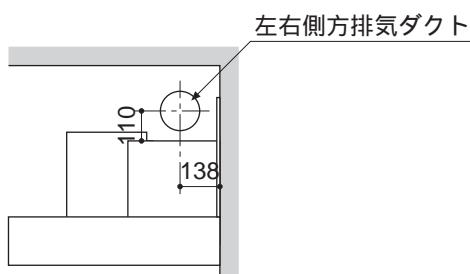
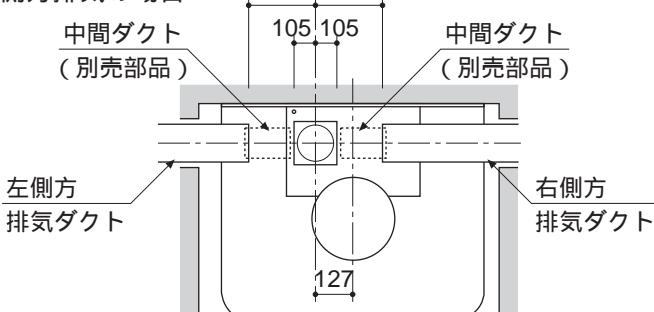
後方排気の場合



後方排気の場合、
バックパネルは
使用できません。



左右側方排気の場合



レンジフードの取付け

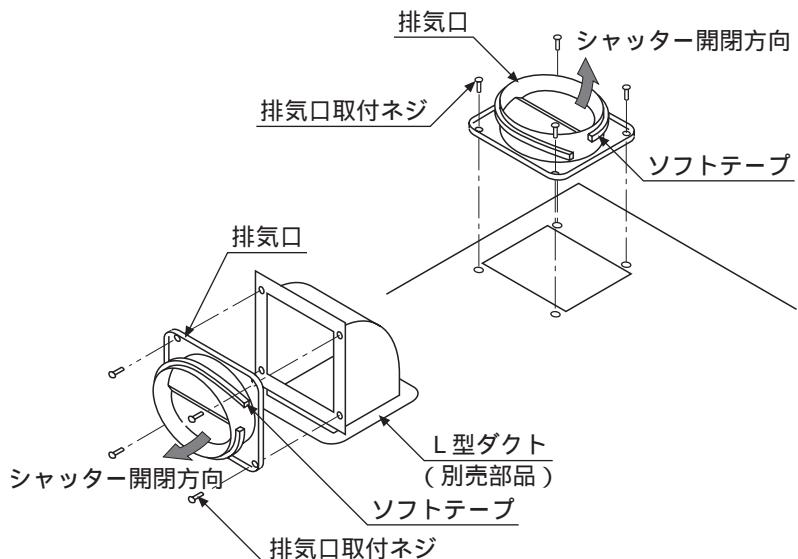
1 排気用部品の準備

上方排気の場合

- ・排気口に付属のソフトテープを貼ります。

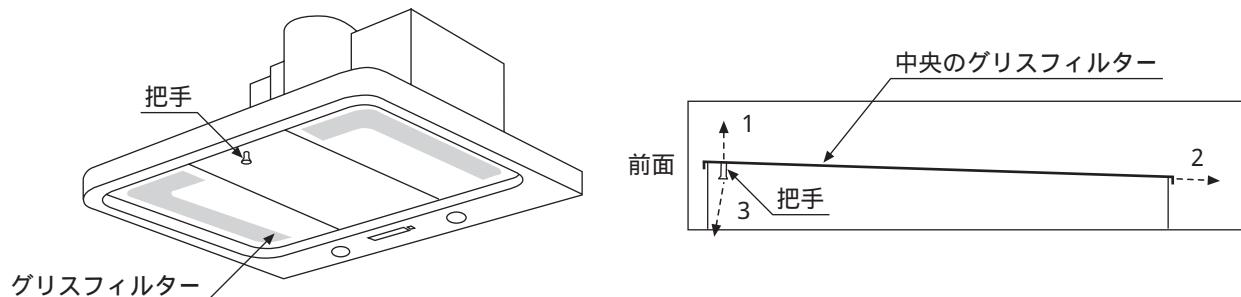
後方・左右側方排気の場合

- (1) 排気口にソフトテープを貼ります。
- (2) 排気口を取り外し、シャッターの開く方向に注意して、L型ダクト（別売部品）に取付けます。
- (3) 中間ダクトの直径が細い側に、ソフトテープを貼ります。
- (4) 本体への取付けは、後で行います。



2 グリスフィルターの取り外し

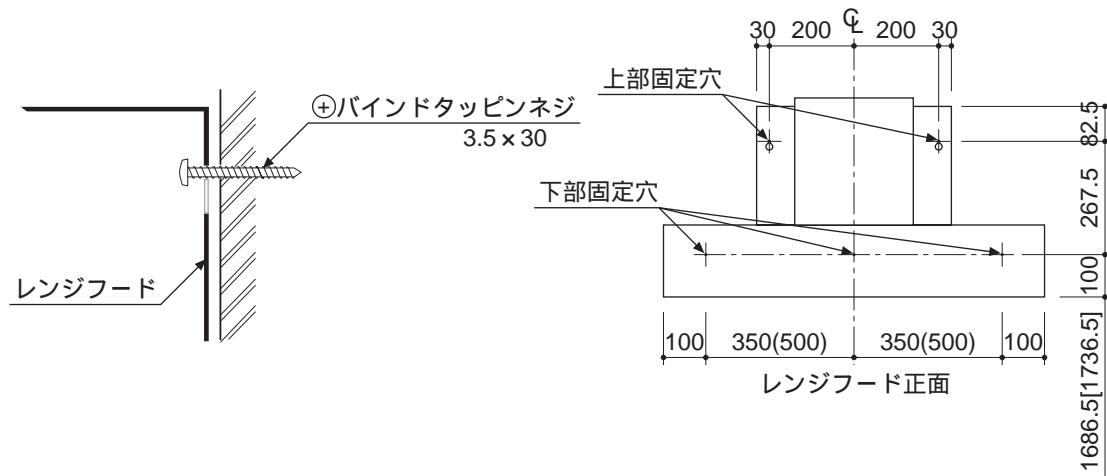
- ・中央のグリスフィルターは、把手を持ってグリスフィルターを持ち上げ、いったん奥へ押し込んでから手前に引いて取り外します。
- ・左右のグリスフィルターにはそれぞれ外側にツメがついていますので、グリスフィルターを持ち上げながら、いったん内側へ寄せ、その後奥へ押し込み、手前に引いて取り外します。



取付ける際は逆の手順で行います。

3 レンジフードの取付け

- ・上部固定穴 2ヶ所に \oplus バインドタッピンネジ 3.5×30 を打ち、レンジフードを \oplus バインドタッピンネジにひっかけ固定します。その後、下部固定穴 3ヶ所を \oplus バインドタッピンネジ 3.5×30 で固定します。



() 内寸法は、TRNS-120D の場合を示す。

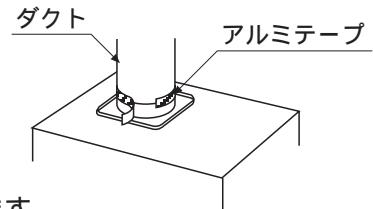
[] 内寸法は、A F 仕様【H=150】の場合を示す。

4 排気用部品の接続

注意：テクススネジ等で排気口を固定する場合は、シャッターにネジが当たらないように固定してください。

上方排気の場合

風洩れ防止のため、テーピング（アルミテープ）をしてください。



左右側方排気の場合（別売部品のL型ダクトを使用する場合）

（1）中間ダクトのソフトテープ貼り付け側を、排気ダクトに差し込みます。

（2）L型ダクトに取付けた排気口に、中間ダクトのもう片側を差し込みます。

（3）L型ダクトを本体に取付けてください。

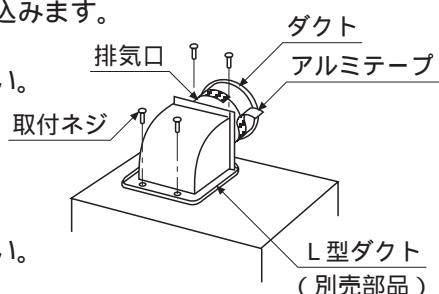
（4）風洩れ防止のため、テーピング（アルミテープ）をしてください。

後方排気の場合（別売部品のL型ダクトを使用する場合）

（1）L型ダクトに取付けた排気口を、排気ダクトに差し込みます。

（2）L型ダクトを本体に取付けてください。

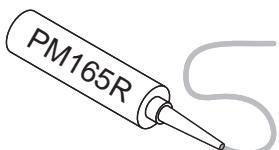
（3）風洩れ防止のため、テーピング（アルミテープ）をしてください。



5 バックパネルの取付け バックパネルはオプション対応です。

⚠ 注意

必ず指定の接着剤を使用してください。



指定外の接着剤を使用しますと、バックパネルが落下してケガや火災の恐れがあります。

《指定接着剤》：エポキシ系弾性接着剤
P9WP - PM165R
(別途購入)

降雨・降雪時の取付けは避けてください。



バックパネル下地が濡れると接着力が低下しますので、必ず乾燥させてから取付けてください。接着不良でハク離し、落下してケガをする恐れがあります。

接着剤が皮膚等に付着したときは、すぐに石鹼でよく洗い流してください。



炎症を起こす恐れがあります。

バックパネル下地の取付け

1 バックパネル下地の乾燥と清掃の確認

ゴミ等の付着物は除去し、水分は十分に乾燥させてから使用してください。

あらかじめ取付桿 24×45 以上のものが壁の下地に入っているかを確認してください。

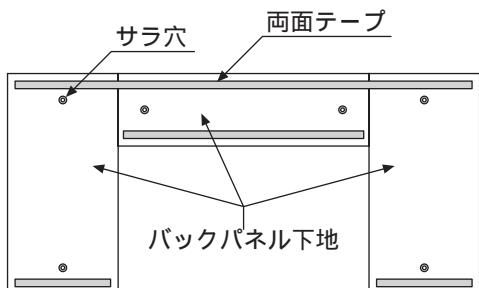
2 両面テープの貼り付け

バックパネル下地表面に、強力な両面テープを使用して図1の位置に貼り付けてください。

両面テープ（幅10~20mm・厚み1mm以下）

両面テープ表面のハク離紙はめくらないでください。

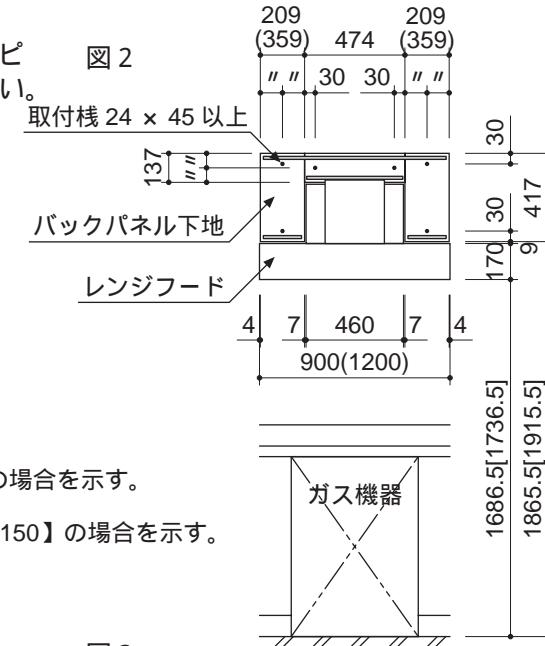
図1



サラ穴のある面が表面です。

3 バックパネル下地の取付け

バックパネル下地を右図の位置に、付属の \oplus サラタッピングネジ 3.5×35 にて壁面にしっかりと取付けてください。
(図2)



() 内寸法は、TRNS-120D の場合を示す。

[] 内寸法は、A F 仕様【H=150】の場合を示す。

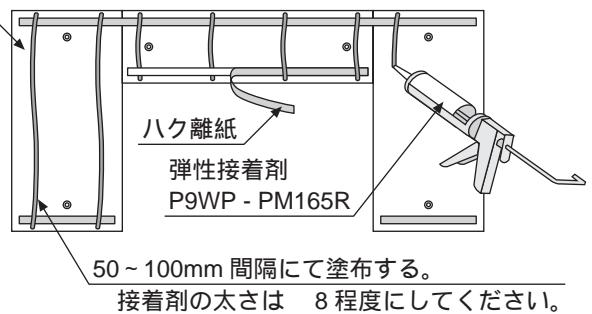
バックパネル(ステンレス)の取付け

1 接着剤の塗布

バックパネル下地に接着剤を塗布し、両面テープのハク離紙をめくってください。(図3)

《指定接着剤》弾性接着剤 P9WP - PM165R (別途購入)

図3



50~100mm 間隔にて塗布する。
接着剤の太さは 8 度程度にしてください。

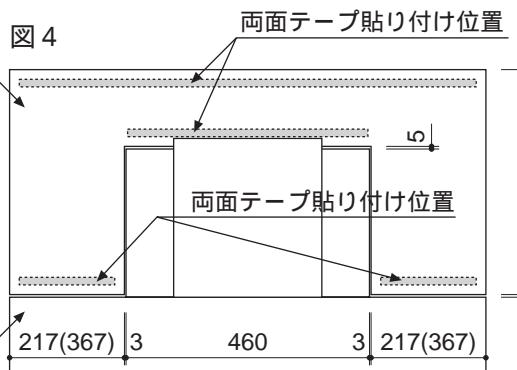
2 バックパネル(ステンレス)の取付け

バックパネル(ステンレス)を仮に貼り合わせて、位置を決めてください。(図4)

位置が完全に決まるまでは、両面テープ貼り付け位置を絶対に押さえないでください。

接着剤は速硬化性のため、塗布した後10分以内に位置決め作業を終了してください。

図4

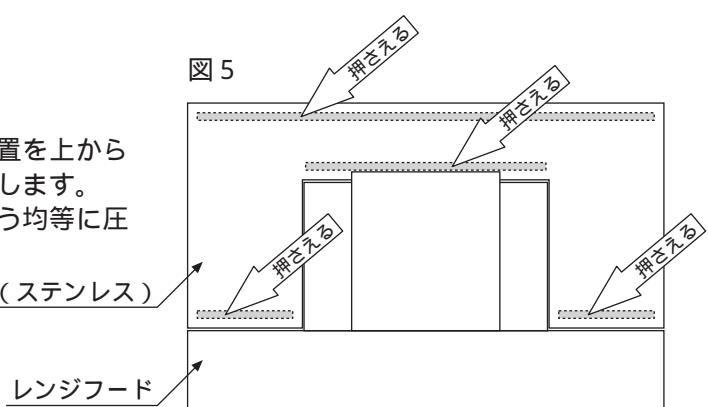


3 バックパネル(ステンレス)の貼り付け

位置が決まりましたら両面テープ貼り付け位置を上から押さえ、バックパネル(ステンレス)を固定します。

その後ゴムローラー等を使用して密着するよう均等に圧着してください。(図5)

図5



4 バックパネル(ステンレス)のシーリング

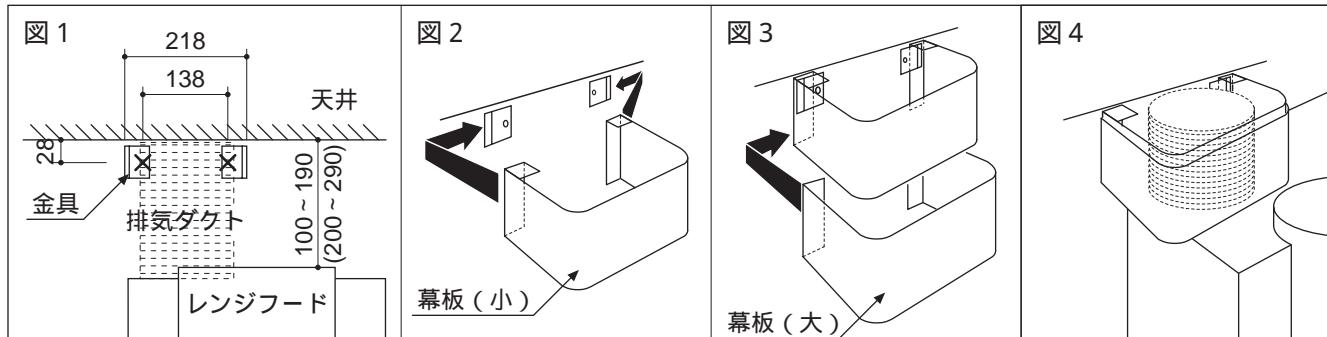
バックパネル(ステンレス)とレンジフードの隙間を、シリコン系シーリング材にてシーリングしてください。

シリコン系シーリング材: 防カビタイプ・クリア (別途購入)

シーリング材の使用方法については、シーリング材の説明に従ってください。

6 フード幕板の取付け パックパネルを取付ける場合は、フード幕板は利用できません。

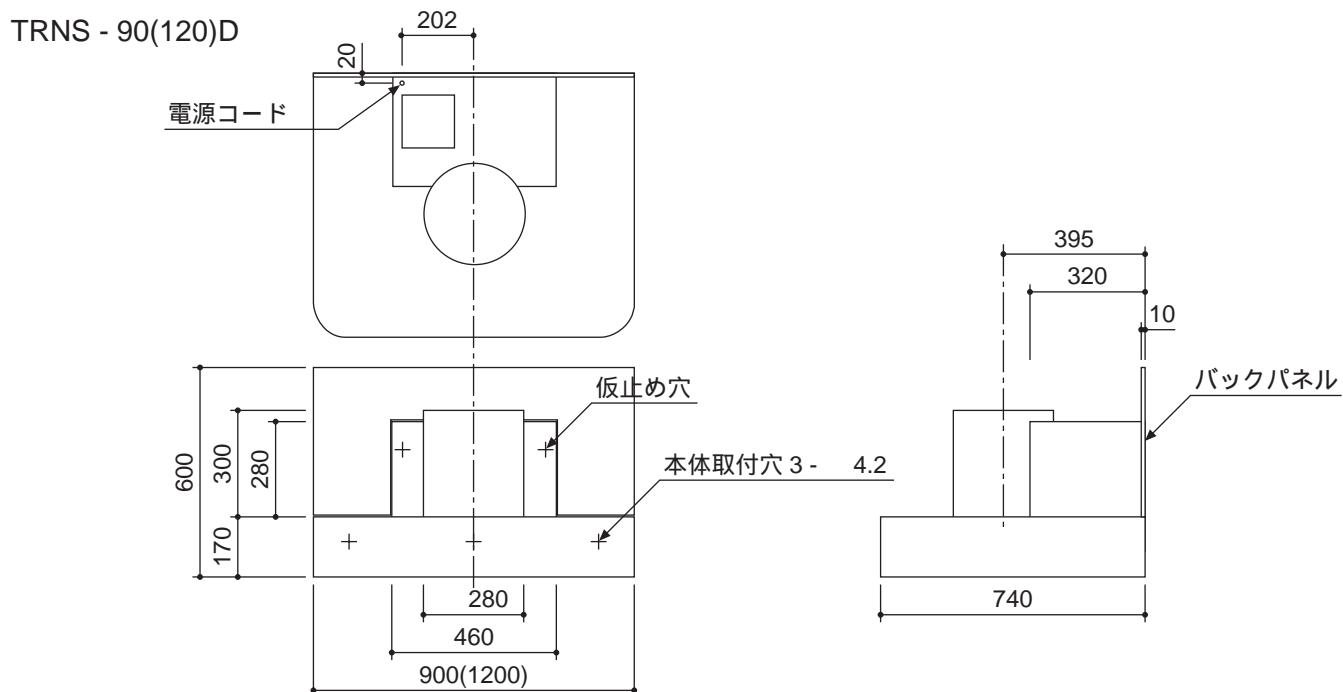
- (1) レンジフード上面の壁面に金具を取付けます。(図1)
 - (2) 幕板(小)を左右に広げて、金具と壁の隙間に差し込みます。(図2)
 - (3) 幕板(大)を幕板(小)の上から被せ、レンジフード上面に当てます。(図3・4)
- (TRBM-FS2310S / TRBM-FS2320S)



7 電気配線

- 電源プラグをコンセントに差し込みます。

製品寸法図



取付け後の点検・清掃

- 「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付けされているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- スイッチを入れて動作を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。



TOYO KITCHEN[®]
<http://www.toyokitchen.co.jp>

トヨーキッチン&リビング株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山 6-4-10

ユーザーサポートセンター 東京・南青山
お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toy01.toyokitchen.co.jp

東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040 金沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111